

平成26年度播磨町移動等円滑化推進協議会 議事録

日時：平成27年1月19日(月)10:00～11:40

場所：播磨町役場BC会議室

事務局)

お待たせいたしました。定刻となりましたので、これより平成26年度播磨町移動等円滑化推進協議会を始めさせていただきます。委員の皆様におかれましては、昨年度に引き続き、本協議会にご出席を賜り、ありがとうございます。私は企画グループの岡本と申します。

それでは、会議に先立ちまして、はじめに、播磨町理事の角田よりご挨拶を申しあげます。

理事)

平素、大変お世話になっておりますことをこの場をお借りしましてお礼申し上げます。本日は大変お忙しい中、播磨町移動等円滑化推進協議会にご出席いただきましてありがとうございます。高齢者や障がい者をはじめ誰もが自立した社会生活を実現でき、安全・安心・快適に暮らせる環境づくりを進めているところでございます。このようなことから播磨町におきましては皆様にご協力をいただきまして、平成24年3月にバリアフリー基本構想を策定し各種事業に取り組んでいるところでございます。本日は特定事業の進捗状況につきましてご協力いただきたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。簡単ではございますが、あいさつに代えさせていただきます。

事務局)

ありがとうございました。

本日の会議は1時間半程度を予定しておりますので、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

それでは、協議会を進める前に、お手元の資料のご確認をお願いいたします。

〈資料確認〉

「平成26年度播磨町移動等円滑化推進協議会議事次第」

「資料1：播磨町移動等円滑化推進協議会委員名簿・配席図」

「資料2：播磨町移動等円滑化推進協議会設置要綱」

「資料3：播磨町バリアフリー基本構想（概要版）」

「資料4：特定事業等の進捗状況」 でございます。

以上過不足なくございますでしょうか。

それでは、次第に従いまして進めてまいります。

1. 委員の紹介

事務局)

まず初めに、委員の紹介をさせていただきます。

委員の委嘱期間につきましては、平成24年度から平成26年度までの3年間とさせていただいており、ほとんどの皆様が昨年度に引き続きご出席いただいている訳ですが、今年度、新たに委員になられている方もいらっしゃいますので、あらためて紹介いたします。それでは、事務局より委員の紹介をさせていただきます。

(事務局から資料1：播磨町移動等円滑化推進協議会委員名簿・配席図に基づき委員紹介)

2. 播磨町バリアフリー基本構想について

事務局)

それでは、続きまして次第の2番目、「播磨町バリアフリー基本構想について」ですが、これよりは、議事の進行を北川会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

会長)

播磨町の移動円滑化基本構想が平成23年度から始まりまして、調整しながらまちづくりを進めていくということで、今のところ年に1度集まる形で進めています。ここ3年の間にいろんなことがありまして、交通の話でいうと公共交通の活性化をどう考えていこうとか、あと介護保険の話とか、これから自治体がとにかく頑張っていかなければならないところだとすごく言われています。

バリアフリーも当然そのハードウェアを担うものでして、基本構想を作るだけ作って終わる自治体も正直多いのですが、播磨町ではこういう風にみんなでこれからも考えていきましょうという形で進めてまいりますので、引き続きご協力をお願いしたいと思います。去年も同じような会合をさせていただきましたが、思ったより整備スピードが速くて、事業者さんのご努力もありますし、皆さんの熱意もありますが、作った基本構想ができてきていますので引き続きいろんな評価をしながら進めていきたいと思っております。

今日の議事の次第としては「おさらい」と特定事業の進捗状況を確認していくことです。播磨町のバリアフリー基本構想について、昨年から1年くらい経っていますし思い出しますので、「おさらい」ということで事務局からご説明をお願いします。

(事務局から資料3：播磨町バリアフリー基本構想（概要版）について説明)

会長)

播磨町バリアフリー基本構想につきまして、何かご質問等はございませんでしょうか。こういう構想の元でこの会議が進めているご確認ができたかと思えます。途中で事業の確認もあるかと思えますので、その都度遠慮なくご質問いただければと思います。

続きまして、この協議会のメインテーマであります3番目の「特定事業等の進捗状況について」を、事務局から説明お願いいたします。

3. 特定事業等の進捗状況について

(事務局から資料4：特定事業等の進捗状況について説明)

会長)

事務局からご説明がありました。先ほどもおっしゃっていましたが、各事業者で追加説明や近況報告などをしていただければと思いますので、よろしくお願ひします。順番でいきますと山陽電鉄からとなりますのでご報告等よろしくお願ひします。

山陽電鉄)

お手元の資料4の表をご覧くださいまして今年度実施ということと言いますと、ホームの安全性向上の検討ということですが、こちらのほうは他社さんや時局を鑑みながら検討を続けさせていただきたいと考えております。

それから案内情報のわかりやすさで、文字による運行情報の提供に関していうと、平成26年度実施予定となっておりますが、実際には平成26年度に実施済みでございまして、資料に反映できず申し訳ございませんでした。

平成26年4月1日から情報ディスプレイということ改札口の前に液晶モニターを設置いたしまして、普段は社内の広告関係を提示しているんですけども、列車の遅延が発生しました場合には、こちらのモニターのほうに遅延情報が表示できるようになりました。昨年も台風等の影響で運行状況を掲示する機会があったんですけども、そのような形で少しでも早くお客様にリアルタイムでわかりやすい情報をご案内できるように努めております。私からは以上でございまして。

神姫バス)

私どもの取り組みといたしまして、平成28年度にバスロケーションシステムというものを導入予定をしております。この導入によりまして、路線バスの遅れの情報でありますと

か、今現在どういった運行状況であるかが、お手元のパソコンやスマートフォンなどでリアルタイムに確認できるようになります。これによりましてバスを使うのか、あるいは、ほかの手段に切り替えて移動するのかをタイムリーに判断いただけるようになると思います。将来的には運行実績をもとにより遅れが少ないダイヤの編成に取り組んでいきたいと思っております。私のほうからは以上でございます。よろしくお願いいたします。

別府タクシー)

バリアフリータクシーであるユニバーサルデザイン車両をトヨタさんのほうから今年度中に発売すると聞いていますけれども、正確な日にちがわかっておりませんのでわかり次第順次導入するというふうになっております。

乗務員のバリアフリー研修なんですけれども、今までは外部の方をお願いをして研修をしていたんですけれども、それをするとなると非常に時間が長くて受講させることが困難であったので、昨年協会のほうで短時間で研修ができるようなシステムを作りましたので、順次バリアフリー教育を乗務員にも実施させております。私のほうからは以上です。

加古川警察)

交通安全の特定事業ということで、これに関しましては道路管理者であります播磨町と連携して進めています。

特に交通安全の取り締まりの強化につきましては自転車・自動車、特に加古川管内では自転車の事故が多いので、そういった視点で取り締まりをしています。

それから横断歩道や信号の設置等につきましては、住民の意見を踏まえながら検討していきます。これにリンクしましてソフト面では、事故とかを見ると「弱者を守っていこう」という意識の低いドライバーが多いようなので、啓発活動等を行う中で、自治会でも交通安全のお話等のご要望がありましたら対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。以上です。

会長)

ありがとうございます。では播磨町は土木グループからお願いします。

土木グループ)

では資料4の2ページ目、その他事業の真ん中のところですが、順次ご説明をさせていただきます。先ほど事務局が説明した内容と非常に重複するんですけれどもよろしくお願いいたします。

まず移動経路の円滑化のエレベーターの設置（南北に1基ずつ設置）ということで、これにつきましては去年の9月29日に完成しまして供用しております。11人乗りのエレベーターが南北に1基ずつ、もうすでに動いているという状況でございます。

その次に段鼻の出入り口段差の識別表示ということで、これにつきましても北と南の各階段のステップのところを黄色の表示にさせていただいております。これも同じように、もうすでに完成済みです。

また、その下の 2 段手すりへの改良ということにつきましては、南北の階段部分またスロープの部分につきまして 2 段手すりに改良させていただいておりますので、これも完了しております。

次に案内情報のわかりやすさということで、視覚障がい者誘導用ブロックの設置・改善ということにつきましては、一部出来ているところもありますけれども今現在工事中で、今まで灰色であった点字ブロックなども黄色のわかりやすい色に変えていっているところがございます。

その下のエレベーター、階段手すり等に点字表示の設置。これにつきましてはエレベーターの完成、階段手すりの完成に合わせて同じように点字表示を設置させていただいております。

次にわかりやすい案内サイン（床面表示）の設置検討。これにつきましては平成 28 年度にどういうふうな表示をしているのか検討したいというふうに考えております。

次に駅前広場（南）の関係、エレベーター設置に合わせた移動経路の円滑化（鉄道とバス・タクシーとの乗り継ぎのしやすさの向上）は今工事をしている最中なんですけれども、南側のエレベーターの前のあたりにちょうど今シェルターという屋根つきの部分の支柱が出来上がったところがございます。これにつきましても今年度中の完成ということで考えております。

次に駅前広場の整備（舗装、段差、横断勾配、幅員の改善）ということで、これも同じ工事の中に含め現在工事を実施しているところがございます。

4 ページの生活関連経路の町道播磨町駅前線、播磨町駅の南側の東西にのびる第 2 庁舎と図書館の間の道路なんですけれども、これについて老朽化した道路の凸凹の修繕、また視覚障がい者誘導用ブロックの改善、歩道改良ということにつきましては、資料 3 の中でちょうど播磨町駅の南側の東西の部分につきまして現在工事を実施しているところがございます。歩道の改良につきましては、たとえば喜瀬川に向橋という橋があるんですけれども、非常に高かったマウンドアップの歩道部分を削ってセミフラットにして通りやすく、また舗装につきましては透水性舗装にして歩きやすくしました。

次に町道本荘土山線ですが、地図を見ていただきましたら福社会館の東側に本荘土山線と書いてあるところなんですけれども、その部分の老朽化した舗装の凹凸の修繕、視覚障がい者誘導用ブロックの改善、歩道改良につきましても、舗装の改良をしております。歩道改良につきましては透水性舗装にしております。

次に町道東耕地 16 号線、図書館の北側の路線です。グレーチングの改良、歩行者と自動車の共存方策の検討、これにつきましては平成 28 年度に検討、それ以降に改善していきたいということで考えております。今後の課題なんですけれども、自動車が通るのが非常に

厳しいかなということでも内部検討しているところがございます。

町道播磨町駅左岸線、歩行者と自動車の共存方策の検討につきましては平成 28 年度に検討していきたいと思えます。

町道本荘土山線、歩行者と自動車の共存方策の検討につきましても平成 28 年度に検討していきたいと思えます。

町道新幹線南側線、地図の新幹線の南側に新幹線南側線と書いてあるかと思えますが、その部分の視覚障がい者誘導用ブロックの改善、車止め用ポールの改善検討、歩道改良につきましては平成 27 年度に改良していくということで考えております。

なだらかなスロープにするとか、車止めのせいで幅が狭くなり車いすが通りにくいかというところを改善していくように考えております。

町道二子古田線、溝蓋の設置検討、歩行者と自動車の共存方策の検討につきましては平成 28 年度に検討していくというところがございます。

次に 5 ページの喜瀬川右岸遊歩道、遊歩道整備の調整ということなんですけれども、これにつきましては喜瀬川の新幹線のところから右岸側になるんですけれども、平成 27 年度に測量や設計をしまして平成 28 年度に実施していくように考えております。

6 ページの一番下、都市公園特定事業、向ヶ池公園、移動経路の円滑化、段差の解消、舗装面の改善を含めた公園の見直し検討、これは庁舎駐車場等の改善を担当する総務グループと調整しながら、この公園は階段やスロープが急なのでこのあたりのフォーメーションも含めて考えていきたいということで、平成 29 年度に実施していきたいと考えております。以上でございます。

都市計画グループ)

3 ページの一番上、駅前広場北側の件でございます。スロープの出入り口から駅前広場方面へ移動するための経路の確保に向けた土地所有者との調整や検討ということでございますが、平成 26 年 9 月にエレベーターが供用を開始しておりまして、それに伴います用地買収は平成 25 年度に完了いたしました。新たに経路確保ということで所有者等と調整を行いました。今回土地所有者等との調整、協議等の中で断念させていただき、既存の道路で対応させていただきたいということでございます。以上でございます。

総務グループ)

5 ページのその他経路の上から二つ目、「播磨町役場南側スロープの改善方策の検討」とその下の 5 番、播磨町役場第 1 庁舎についての一番最初、「移動経路の円滑化、経路上の段差の改善」、役場の駐車場から庁舎へ入るところの段差のことですが、それと「駐車スペースの検討、車いす利用者等が安全に利用できる障がい者用停車施設の整備と経路の検討」と、「案内情報のわかりやすさ、歩道から施設内まで連続して視覚障がい者誘導用ブロックを設置・改善」これらは庁舎駐車場を改装するので一括して検討していきたいと思えます。

駐車場の反対側、播磨町駅側からのアクセスも含めて検討していくというところで27年度から基本設計に入り、平成28年度に実施設計、平成29年度に工事にかかりたいということで変更をしておるところです。現在予算折衝に入っております。

エレベーターの改善、エレベーター内の鏡の改善につきましては、第1庁舎エレベーターについている鏡が非常に小さくて中に入ったら後ろを確認できないということでしたので、少し大きなものを設置し視認性を確保しております。これは平成25年度にすでに実施させていただいておるところでございます。以上です。

生涯学習グループ)

生涯学習関係は5ページの播磨町中央公民館の改修ですが、ここではスロープの改善が課題になっておりますが、総務グループのほうで役場駐車場の改修を検討するということですので中央公民館のスロープに関してもそれに併せた形で改修していくことになろうかと思っております。

次の6ページの播磨町立図書館に関しましては現在課題になっているところについては実施済みとなっております。以上です。

すこやか環境グループ)

それでは6ページ上から2段目の播磨町健康いきいきセンター放置自転車対策の検討ということで施設利用者への自転車マナー向上の啓発ということなんですが、一応ソフト面ということになりますので、施設管理者が定期的に巡回する、あるいはカラーコーン、コーンバーなどを設置して施設利用者呼びかけています。これらのことは、これからも継続で実施していく必要があるかと考えております。以上です。

福祉グループ)

6ページの各建築物共通事項にも福祉グループとあるのですが、福祉グループは播磨町デイサービスセンター、しあわせセンター、福祉会館を所管しております。ここにもありますように大規模改修時にバリアフリーに配慮したトイレやスロープ、案内板を考えていきたいと思えます。

案内情報のわかりやすさということで、9ページの播磨町のバリアフリーなサインシステムの検討と重なりますが、非常灯、音声による非常用のアナウンスそれから電光掲示板による表示というように、多種の障害に対応するようなサインシステムにつきましても、この大規模な改修があればその時に実施していきたいと考えております。

7ページが一番下、住民への啓発活動、学習機会の提供ということで、公民館等で講演会等を実施しております。平成25年度は実施済みで、平成26年度につきましては2月から3月のこれから行いたいと思っております。

8ページです。バリアフリーマップの作成・配布、播磨町内のバリアフリー状況を取りま

とめたバリアフリーマップを作成し、町のホームページでも広く情報提供ということでございますが、バリアフリーマップにつきましては予算化も含めて検討させていただきます。町内の主な施設につきましては、庁舎、資料館、シーサイドドーム等いくつかの建物につきましては町のホームページで建物に関するユニバーサル情報を掲載させていただいております。

バリアフリーに対する啓発やPR活動に関しては、社会福祉協議会でしていただいております健康福祉フェアでの車いす体験等といったPR活動をすでに実施しておりますので、継続実施ということになっております。

学校教育グループ)

7ページをご覧いただきたいと思います。2番のソフト対策、バリアフリー教育の推進の表の下から2枠め、学校における福祉(心のバリアフリー)教育の実施ということで、小中学校では手話やアイマスク、車いす体験等福祉教育を小中学校の発達段階に従いまして計画的継続的に実施しております。その主体者である子どもたちとともに教職員の指導方法の工夫・改善のための研修や関係機関の皆さんにも学校のゲストティーチャーとして参加いただきながら、教職員と児童生徒の福祉教育の充実に努めているところでございます。以上です。

危機管理グループ)

8ページの下の方の自転車利用者のマナー向上ですが、平成25年12月に道路交通法が一部改正されておまして自転車の通行が変更になっております。この改正を受けまして広報はりまにおいて自転車の通行、安全な利用など啓発を順次行っておるところでございます。

歩行者の通行の安全と良好な生活環境を保持するために、播磨町駅周辺に関しましては自転車等放置禁止区域に指定しまして放置に対する指導等を行い、利用者の通行上良好な環境保持に努めているところでございます。

春と秋には全国交通安全運動が実施されるわけですが、この期間中等につきましては加古川警察と協力しまして自転車の安全な利用、また自転車マナーの啓発に努めているところで、継続実施として進めているところです。以上です。

企画グループ)

9ページのバリアフリー化の取り組みの周知ということで、これにつきましては今後もバリアフリーに関心を持っていただくということで、ホームページや広報等を通じましてバリアフリーの整備内容、その進捗状況について周知ということで、この会議等における議事録等も掲載いたしまして皆様に広く知っていただくということで継続実施をしております。以上でございます。

会長)

以上が特定事業の進捗状況ということで、かなり進んでいる印象がございます。住民サイドからしてみれば初めてお聞きになられたことであろうかとございますが、何かご質問があれば受け付けたいと思いますが、何かございますでしょうか。

委員)

いくつか質問させていただきたいと思います。

まず土木の方へお願いしたいと思います。播磨町駅にエレベーターが付きまして、とても便利になりまして喜んでおります。実際に利用していても、私たちだけでなくお年寄りの方もとても喜んでおられまして、よかったなあと本当に心から思っております。しかし、どうしてこんなことになったのかなあということがありまして、お聞きしたいんですけれども、ボタンの形状が中と外で違うんです。山陽電車の駅の前のは中も外もボタンの形状は同じで、三角の向きで上階と下階がわかるようになっているんです。ご覧になったらわかると思うんですが、外のボタンは上向きの三角になっているが、中に入ってボタンを触ると形状が違ってすぐにはわからない。点字の表記があるのでそれを見たらいいのですが、その表記がまた問題で、外の表記と中の表記が違っている。点字表示も「地下1」とあるが「地下」だけでよかった。今さら変えられないのでしょうか。もう少し利用者の方を考慮してやっていただけたらいいなと思います。業者の方もなんでそのようにしたのか、いまだに不思議で仕方がない。どうなんでしょうか。

土木グループ)

申し訳ございません。中と外でまったく表記が違うという意見なんです、確認させていただきまして、同じようにできるようにしたらそうしたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

委員)

ぜひ考慮してほしいと思えました。

それから浜側から私は乗るわけですが、スロープからエレベーターに行くまでに何もありませんので、これから予定があるかもわかりませんが、ぜひ点字ブロックをつけてほしいと思います。

それから神姫バスなんですけれども、加古川行の便数が減ってしまいまして、日に2本だけになってしまっています。去年の10月からだったかとても不便になりました。こんなことがあるんだろうかと思って、ちょっとこれはいくらなんでもひどいなと、これでは神姫バスはだめだなと思わざるを得なくなりまして、このようなものでは利用できない。なんとか本数を増やしていただけないかと思ひまして、もちろん予算のこともあるんでし

ようけれども、これはちょっと何とかしてほしいと心から思うのですが、どうでしょうか。

神姫バス)

加古川駅と播磨町駅を結ぶ路線につきましては昨年の10月から現在のダイヤ、1日4本のダイヤにさせていただいております。ご利用状況、それから収支の状況を考え合わせまして現在のダイヤの運行になっております。ただお使いになられる方からされると必ずしも便利なものでないということは思っております。今後こういった形に再編成していくかは、役場の方その他関係先の方を含めて協議をしながら進めていきたいと思っております。しばらくの間ご不便はあるかと思いますがご理解いただければありがたいと思いません。

委員)

ありがとうございます。

それからこの場所でお聞きしていいのかわからないですけれども、タクシー券のことなんです。これは福祉グループのほうで何度かお願いしているんですけれども、別府タクシーのほうは一昨年から3枚使えるようになりまして、加古川に行くときとかに使わせてもらっているんです。問題は加古川から帰ってくることで、運転手さんが全然知っておられない。ですからタクシーの中でもめめるんです。即座に受け取ってくださる方もいらっしゃるんですけれども、1枚しか使えないという方もいらっしゃるって、周知されているといわれていますが、全然周知されていません。それは全くの間違いです。実際きちんと知っておられる方に、ほとんどお目にかかったことがないんです。私は特に加古川タクシーを利用しているんですが、これは何とか周知していただかないと乗った時にもめるんです。ぜひ改善してほしいと思いました。これはどの方がご返事していただけるんでしょうか。

福祉グループ)

おっしゃるように、播磨町でも3枚使えるようになったときに各タクシー会社の方に通知をださせていただいて、従業員の方に周知してくださいという形をお願いしているんですけれども、従業員の方に周知されていないということですよね。同じような方法でしかないと思いますけれども、もう一度周知徹底ということでご利用者の方から従業員の方に「まだご存知ないということでもめることがある」というご意見があります。という内容の文書を入れて、もう一度、播磨町と契約していただいている各事業所へ通知させていただきたいと思えます。

委員)

会社に電話しても、窓口の方も知っていない。これはすごく問題でしょ。窓口でも「そのようなできません」とおっしゃるわけですよ。こうなると本当に厄介で、それで困

ったことが何度もあるんですよ。そのようなことがないように、徹底していただいていた
だきたい。せっかく仕組みができていないのに利用できないことがないように、ぜひお願い
したいと思います。少なくともそれだけは改善していただきたい。

福祉グループ)

各市町で使える枚数が違うんです。播磨町は 3 枚で兵庫県の市町では一番多いんですけ
れども、その辺をもう一度事業所と事業所の窓口にいる人たちには周知徹底してください
というような形をお願いするより仕方ないかなと思いますので、もう一度通知いたします。

委員)

ぜひお願いします。それから土木の方をお願いしたいんですけれども、喜瀬川右岸新幹
線から山陽電車までの土手の計画はあるのですか。あそこはまだ歩道がないし、歩くのが
なかなか難しいなと思うんですけれども、そこを改善していただけないかなと思ひまして。

土木グループ)

新幹線から山陽電車までの喜瀬川右岸西側の部分につきましては、平成 27 年度に測量な
り、設計なりしまして、特に新幹線からのぞえ橋までが手すりも転落防止策もないので、
そのあたりも含めて平成 28 年度には改修工事を実施できればと考えております。

委員)

よろしくをお願いします。それから山陽電車の方をお願いしたいと思うのですが、去年の
いつからか駅の放送をしていただけるようになりまして、とても助かっております。喜ん
でおるんですけれども、電車の中の放送、各駅停車の方はそんなことないんですけれども、
特急の方のアナウンスが小さい人がたまにいるんです。そのたびにインターホンで声が小
さいからもう一度言ってほしいと頼むんです。最近ちょっと聞かないんですけれども、声
ですぐにわかるので一人だけいると思います。それは私たちだけでなくほかの方も小さ
い声だと感じているようです。どうせ放送するならちゃんと放送してほしいと思います。
誰でもそう思うのではないのですか。労力なんて大して変わらないので、ぜひお願いした
いと思います。

山陽電車)

ご迷惑をおかけして申し訳ございません。社に帰りましてこのようなご意見があったことを伝えますし、今後とも教育に努めていきたいと思えます。申し訳ございませんでした。

委員)

ありがとうございます。ほとんどできてすごくよくなったんですけども、たまにいらっしやるのでぜひお願いしたいと思えます。よろしくお願ひします。以上です。

会長)

他、皆様何かございますか。また後程お一人ずつご意見をいただきたく思えますのでよろしくお願ひします。特定事業の進捗状況の中で、いくつか確認もさせていただきましてたけれども、やはりスパイラルアップしていく必要があると思えます。また、お互いにそのような関係を作っていたらありがたい。エレベーターの設置をする側も分かっているようでわかっていない。バスの話では、私が公共交通会議にも出席しております関係から、データなどを見ると、なかなかご利用が少なく、生活にあっていないという話も結構ありました。タクシー関係につきましては協会からも何かございますでしょうか。

タクシー協会)

われわれ、はりま高砂タクシーは播磨町メインで動いていますので、地元の市町のことは知っているんですけども、加古川タクシーは加古川市がメインですので播磨町のことをよく知らないかもしれませぬ。協会からも各社に言いますけれども、新規のところは周知徹底できない部分がありますので、昔からある業者さんを選んでいただけたら協会のほうからきちっと話をさせてもらいます。

会長)

なかなか業者も大変だと思えます。それから駅のアナウンス、一人だけだそうですが、その点もしっかりとお願ひいたします。いろんな話がありますがお互いの機能性もしっかり知っていただいて、引き続き推進していただきたく思えます。よろしくお願ひします。それでは先ほど予告しましたけれども、委員から近況報告でもいいですので一人ずつご意見をお聞きしていきたいと思えます。まずシニアクラブからお願ひします。

シニアクラブ)

行政やその他いろんなところのおかげでバリアフリー化が進んでおり、高齢者にとってもだんだん動きやすくなっているのは確かです。本当にありがとうございます。今日は理事が4人来られていますので、行政へのお願ひを言ういい機会になります。

周りの人から聞くと今播磨町では買い物難民とか、病院に行くときに困っておられる高齢者の方がおられます。90代で運転すると危険かもしれませんが、車でないと病院にもいけないし、買い物にもいけない。そういう方が増えてきているわけです。神戸や大阪ではバスが安く利用できる。大阪でしたら800円代の運賃でも高齢者なら100円で乗れる。播磨町もそういうもので高齢者が動きやすいような施策をとっていただきたい。たとえば高齢になって免許をお返しすれば証明書がもらえます。その証明書を見せたら何かを利用するときに安くなるなどいろんな特典がある。こういうものを播磨町も取り入れていただいで高齢者が動きやすいようになることをお願いしたいなと思います。

自転車利用者のことが資料4の8ページに書いてありますけれども、私は夜であいの道をウォーキングするのですが、無灯火で通る方が割と多いんです。見えないから危ないんです。そういうのは自治会関係者に伝えていただいて、また自治会の中でも伝えていただいて、自治会で徹底していただくということも大事だと思っています。

そしてもう1点は、高校生が2列走行などするので高齢者が歩いていると危ないんです。今のところ事故があまり起きていないからいいんですけれども、大きな事故になったら大変なことになりますので、南高校の関係者に自転車のマナーを指導していただいたら、高齢者としては非常に助かりますのでお願いします。

会長)

いいご提案であったと思います。では次の方、お願いします。

はまなす)

こういう会に出させていただいて、いろんな細かいところまでバリアフリーを検討していただいて、すごく感謝しております。前回北川さんに教えていただいたバリアフリーのフェアに、先日初めて行かせていただいたんですが、本当に細かいところまで考えられていてよかったです。定期的にあればまた教えていただきたいです。

先ほど言われた自転車の交通マナーが悪いということで、小学校の指導委員さんが小学生が行った後でも高校生の見守りをされているのを毎朝見かけるんですけども、そういうのを学校の先生はご存じなのでしょうか。中学校の先生方は定期的に要所要所で立って指導されています。中学生は自転車通学しませんが、歩行者のマナーもあるのでそれを見守られている。南高校も週1回など定期的に立って指導されるほうがいいかなと思います。

今、重度の中学生の子どもを育てているので、どうしても車で移動することが多いんですが、福祉会館の駐車場には屋根がないんです。正面玄関前に広い場所があって屋根があるので、社会福祉協議会の方をお願いして雨の日はポールを全部おろしてもらって、車を入れさせてもらっているのですごく便利です。2台止められるのでそこを利用させてもらっています。

いきいきセンターの駐車場は入り口に1台、障がい者用の車が置けるようになっている

んですけれども、使うのは一人だけじゃないと思うので、あの駐車をどういう風にされているのか少しお伺いしたい。うちはプールに行くときなどに置かせてもらっているのですが、他にも利用したい方がいらっしやると思うので、どういう風に考えているのかなと思ってもう一度お聞きしたいと思いました。

あと電車で東京に旅行に行く機会があったんですけれども、連絡すれば駅員さんがどこでもスロープを持って待っていてくれる。駅員さんは安全を第一に考えていただいているので「少し待ってください、この次の車両に乗ります」とか「少し危ないので下がってください」など声をかけていただきました。どこでも行けるなあとすごく安心しましたし、助かりました。

うちは播磨小学校で6年間過ごさせてもらって、地域では有名な障がい児なんですけれども、そのおかげでどこに行っても声をかけてもらえるし、全然知らない人でも声をかけていただいて助けてくださる。いざ困った時には手を貸してあげるよ、知らないけど手伝ってあげようかという声が出てきそうな気がするので、そこのつながりは大事にしたいなと思いました。

委員)

私のほうからは、車止めのところで人が話していると自転車だと通れないので、しょうがないので降りて車道を歩くようになるのですが、車が来てすごく驚いたという経験があります。車止めが逆に邪魔になるということも考えてもらいたいです。

山陽電車で情報ディスプレイができたと聞いて、災害時でも安心できると思いました。目で確認できる情報が得られるというのは、私たちにとってすごく便利なことだなという風に思っております。何かあった時には音だけではなくて、見た目でもわかるという方法を考えてもらえるとうれしいと思います。

それからもう一つ、福祉会館の東南の車道の横に点字ブロックがあるので自転車で通るのですが、電柱があることで道幅が狭くなっているんです。この電柱がなければ安全に通れるのと思いました。電柱のせいで道幅が狭くなったり、点字ブロックを邪魔していることもあるので、障害物がないように考えてもらえたらありがたいなという風に思います。

委員)

山陽電車の方にもう一つお願いしたいんですけれども、券売機がすごく買いやすくなってありがたいんですけれども、反応が遅いんです。今度改善するときには、もう少し早く反応できるようにしていただけたらなと思います。他の人でも遅いから失敗することがあるんです。気の早い僕の友人はすぐにボタンを押してしまうので、うまくいかなくなってしまいます。僕は慣れているので機械の反応に合わせるようにしているのですが、急いでいるときはすぐに画面が切り替わらないものですから反応が悪いなと思いました。

JRの券売機より山陽電車の券売機のほうがずっと新しいのに、JRはそのようなことは

ないです。点字のマニュアルも書いてあって操作はすべてできますのでとてもありがたいのですが、ただスピードが遅い。パソコンが固まったように、キーボードを押してもすぐに反応しない時と同じような形で、反応がいつも遅いので今度改善するときは、もう少し早くお願いできないかなといつも使うときに思っているんです。以上です。

会長)

研究をしてもらう必要があると思います。なかなか難しい問題だと思います。

手をつなぐ育成会)

私たちはいろんな障害を少しずつ集めたところもあるのですが、ある意味ご理解といただきますか、それをわかっていただいたうえで一番大切なのは心のバリアフリーかなと思います。これにつきましては表面には出てきませんが、これからずっと続く問題だと思います。障害については実際に経験してみないとわからないところもあると思いますが、今後認知の方も増えてこられてそういう社会になってきますけれども、その中で心のバリアフリー、それだけは続けていただいてご理解いただきたいなと思います。

会長)

確かに皆さんのご意見を聞かせていただくとマニュアルとかガイドラインとかありますけれども、われわれが気づかなければいけないところをご指摘いただいているのではないかと思います。自転車の問題がいろいろありまして、事故も増えていっているので、対策といたしますか、できることはみんなですていかなければならない。あと介護の話だとか、地域の子育てとか、使えるものは何でも使って推進していくことが大事だと改めて思ったところがあります。研究者としても、まだ社会に対して確立されていない宿題が実は多いんです。ですから今日改めて事業のところを見ていきますと、確立されていないところは皆様の困る一因となっているところなんです。利用者サイドからいうと解決されていないからイライラするのかなという感じですね。ですからこのような会合が大事で、これから調整しながら内容もしっかり確認して進めていきたいと思っておりますので、ぜひお願いしたいと思います。

今日はオブザーバーに東播磨県民局と近畿運輸局の方が来られていますので、県民局からお願いしたいと思います。

東播磨県民局)

最初に会長からもお話がありましたが、去年も参加させていただきまして、播磨町はこういう計画を作っておくのではなく、会議も持たれているのは素晴らしいなと思い、聞かせていただいております。本当に事業者サイドとしてはあと一歩が及ばなくて、利用者の方々、住民の方々が気が付いたところを、こういう場で聞かせてもらえるのは非常

に参考になります。「あと一步」及んでいないことが非常に多くて、事業者としてはできていると思込んでしまっていることが多いんです。なので、できているんだけどこの一步が届いていないよと言っていただくのは非常にありがたいと思います。素晴らしい意見をいただいたと思っております。これからもそういった意見をどんどん聞かせていただけたらと思いました。

ただ今日お話を聞いていて、あと一步のお話とそうではないお話とあったと思います。たとえばバスの本数の話が合ったんですけれども、実際やろうと思ってもなかなか難しい問題というのはたくさんあるんですね。それを何か違う解決方法はないのか、やれることはなんだろうか、ということを考えていくのも一つの方法だと思います。利用している方、生活されている方と一緒にまた専門家として会長にアドバイスをいただきながら、行政と考えていける場に兵庫県としても考えさせていただいて、すぐにできるところは対応させていただきたいと思っております。以上です。

近畿運輸局)

基本構想の作成の後にこのような進捗管理であったり、事業終了後の見直し改善を図っていく会議は非常に有意義だという風に考えております。これからもこういった取り組みを進めていっていただきたいという風に考えているところでございます。

2 つほど今後の検討を行うに当たって加えていただければどうかということがあります。実は先週末に国土交通省の全国の会議がございまして、私はそこにも出席させていただきました。その中で一つ大きなテーマと言われたのが災害時の対応です。事業の進捗状況の説明の中にもお話がありました。災害時緊急時における情報をどういう風に展開していくのかということですね。そういったことに加えて、たとえば災害が発生した時の避難経路の設定。ここの避難経路がバリアフリー化されているかどうか。こういったところも今後バリアフリー化が必要になっていくだろうと思っております。災害時の対応ということも今後の検討の中に加えて言ったらどうかなということが一つ。

それからバリアフリー法が施工されまして駅設備や車両について改善が進んできました。現在日本の国においては2020年の東京オリンピックパラリンピックを目指して急速に整備が進んでいるところです。バリアフリー化も進んでいるのですが、これまで公共交通の利用ができなかった方々の利用の機会も増えてきた。その中で1点注目されるのが、ベビーカーを利用されている方。これはやはり注目されていなかった子育て世代への対応も少し今言われるようになってきた。そういったところの対応も含めて今後ぜひ検討の中に加えていっていただきたいと思っております。われわれ国土交通省におきましても、こういった部分にもしっかりと対応を図っていきたいと考えておりますので、また国に対してもいろいろご意見ご要望をいただき改善を図っていきたいと思っております。以上です。

会長)

ありがとうございました。本当に宿題がたくさんありますが皆さんのご意見をまとめますと、視点というか見るところを変えなければいけない。ベビーカーとか、駐車場の使い方とか、利用の適正化の話、トイレの問題などいろいろありますね。誰でもトイレを使えるようにすると使いたい人が使えなくなったりする。それから声掛けをちゃんとしていきましょうとか、地域の中のつながりとか、災害時の対応とか、指摘されたところをちゃんと把握して直せるところはすぐに直していくように、そういう風な姿勢なんかもこれからは非常に重要だということ、これから町として全体を通じて一丸となって進めていくことができればありがたいと思います。それではその他ということで事務局から何かあればよろしくをお願いします。

4. その他

事務局)

本日は貴重なご意見等をどうもありがとうございました。今後もこの移動等円滑化推進協議会は、年に1～2回程度開催し、事業の進捗状況の報告や、住民の皆様からご意見等をお伺いし、バリアフリー事業の推進に役立てていきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

来年度には、播磨町駅南側の駅前広場の工事も完了する予定です。これで、すでに山陽電車様に整備いただいている、駅構内のエレベーター、駅の地下道のエレベーターを合わせて、播磨町駅のバリアフリーがある程度整いますので、平成27年度の秋ごろを目途に、この協議会の住民の側、利用者の側の委員の皆様と播磨町駅周辺のタウンウォッチングを実施できればと考えております。また、その際にはご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、本日の会議の議事録について、各委員の皆様にご確認いただいたのちに、町のホームページ等で公開させていただきたいと思っておりますので、宜しくよろしくお願いいたします。

会長)

以上で、本日予定しておりました議事が全て終わりましたので、本日の協議会は、これにて閉会したいと思います。

閉会のあいさつを、副会長にお願いしたいと思います。

副会長)

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。基本構想に入っているエリアは私共が指定管理で管理させていただいている建物も入っております。

また私は播磨町駅を使わせていただいております、毎年ここでご報告いただくことを含め、

日々ハード面一步一步前に進んでいることを実感しております。

会長がおっしゃられましたようにみなさんがここで出されるご意見というのは「気づき」の場なのかなと思います。「気づき」が様々なチェックをしていくうえでの要となっており、豊かさにつながる。それがソフト面を充実させていくことにつながっていくのかなと思っております。ハードだけでなくソフト面が充実して、播磨町が誰にとってもやさしい街になるように進めさせてもらいたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。